

# 令和6年度丹波の森大学講師紹介

(敬称略)

日時	講師・講義内容
<p><b>6月15日(土)</b> 10時30分～11時25分 ※開講式10時～</p> <p>丹波の森公苑 多目的ルーム</p>	<p><b>角野 幸博</b> [ 景観の遺伝子 ]</p> <p>丹波の美しい景観は、地形や水系、まちなみ、生業等によって形作られ、受け継がれてきました。景観の保全と変化にも「森の遺伝子」がしっかりと働きかけてきたに違いありません。すべての生き物が環境の変化に合わせて進化してきたように、地域の景観も変わっていきます。そのなかで森の遺伝子は、環境の変化に対応しながら自らのアイデンティティ(丹波の森らしさ)を伝えていこうとします。丹波の景観がどのような魅力と特徴をもち、どのような力と工夫によって受け継がれ、新しい景観が生まれ出されていくのかを一緒に考えます。</p>
<p>11時30分～12時00分</p> <p>丹波の森公苑 多目的ルーム</p>	<p><b>谷水 ゆかり</b> [ 事業創造コース概論 ]</p> <p>丹波の森大学事業創造コースの概論を説明します。</p>
<p><b>公開講座</b> 丹波OB大学合同開催 <b>7月24日(水)</b> 13時00分～14時20分</p> <p>丹波の森公苑 ホール</p>	<p><b>若宮 正子</b> [ すでにはじまっている未来日本の今 ]</p> <p>諸外国に比べてかなり遅れている日本のデジタル化の現状。特に、高齢者のITリテラシーの向上が喫緊の課題。それに対してできる事は何かについて参加者の方と一緒に考えたいです。</p>
<p><b>8月10日(土)</b> 10時00分～11時30分</p> <p>丹波篠山市民センター 多目的ホール</p>	<p><b>清水 陽子</b> [ 丹波で育つ学生ー地域演習の面白さと難しさー ]</p> <p>講義の内容：近年、学生が地域に出て学ぶ機会が増えています。これは地域にとって活性化になると期待され、学生には地域の生の状況に触れる貴重な経験として評価されています。私もこれまで丹波市柏原を中心に演習を行ってきました。学生ならではの距離感で地域の方と接し、ハラハラすることもあります。また、地域に入っていくには多くの方の支援が必要です。これまでの活動を振り返り、今後についてぜひご意見を聞かせていただきたいです。</p>
<p><b>8月31日(土)</b> 13時30分～15時00分</p> <p>丹波の森公苑 多目的ルーム</p>	<p><b>平櫛 武</b> [ 地域で人をつなぎ、場をつくる ファシリテーション技術を学んでみませんか? ]</p> <p>近年、地域住民が魅力や課題を再認識し、対話を自立して進め、創造した活動を企画・実践するために、「ワガコト化」するワークショップ手法が様々なところで求められています。地域で人をつなぎ、場をつくるファシリテーション技術を学んでみませんか? 本講義では、地域の自治会や協議会、事業活動での実践例をもとに、近年の社会的背景や必要性と共に、ファシリテーション事例についてご紹介いたします。</p>
<p><b>9月28日(土)</b> 10時00分～11時30分</p> <p>丹波の森公苑 多目的ルーム</p>	<p><b>森本 幸裕</b> [ ネイチャーポジティブの景観生態学 ～自然保護の来し方行く末を考える～ ]</p> <p>激甚化する気象災害と新型コロナウイルスで、地球環境危機に皆が目覚めたのでしょうか。自然保護関連の社会の動きが活発です。生物多様性、つまり遺伝子から種、生態系、さらに景観の多様性の保全を目指す自然保護の考え方と活動も多様です。日本の新たな自然保護の枠組み「自然共生サイト」の審査委員長として、多様な活動と成果や課題に接する中で考えた、自然保護の来し方と行く末について考えてみたいと思います。</p>

日時	講師・講義内容
11月6日(水)	<b>現地学習 [ 滋賀県 ]</b> 滋賀県立琵琶湖博物館 他 日本最大の湖、びわ湖は400万年という長い歴史をもつ古代湖とよばれる湖の一つです。人間も古くから湖のまわりで生活し、その豊かな自然を利用した伝統的な暮らしを続けてきました。琵琶湖博物館は、生き物や私たちの暮らしを支える母なる湖、「びわ湖」のすべてを体感し学ぶことができるミュージアムです。
11月30日(土) 10時00分～10時30分  丹波の森公苑 多目的ルーム	<b>村上 哲明 [ 牧野富太郎博士が85年前に丹波で採集した植物標本と牧野標本館で現在行われている森の保全にも役立つDNA情報を活用した研究 ]</b> 東京都立大学 牧野標本館には、牧野富太郎博士が丹波を含む日本各地で約100年前に採集した植物標本(押し葉標本)が多数保管されています。牧野博士が情熱を注いで作成したそれらの美しい標本とその科学的価値について紹介します。さらに、現在、牧野標本館で行われている遺伝子情報を最大限に活用した最新の植物系統分類学・地理学等の研究の中で、森に生育する野生樹木の保全に直結する研究についても併せて紹介します。
日時	事業創造コース・養成ゼミコース
7月6日(土) 13時30分～16時30分 たんば黎明館	<b>事業創造コース①</b> [ キックオフセミナー パネルディスカッション事業で輝く私の道 ]
8月30日(金) 9時30分～12時30分 丹波の森公苑 多目的ルーム	<b>事業創造コース②</b> [ 海外ビジネスへの挑戦 ]
9月7日(土) 14時00分～17時00分 丹波の森公苑 多目的ルーム	<b>事業創造コース③</b> [ 人に愛される商品が生まれるまで サントリー編 ]
10月18日(金) 13時00分～16時00分 丹波篠山市民センター 多目的ルーム①	<b>養成ゼミコース① 平櫛 武</b> [ 進行役とファシリテーターの違いとは? ～リレー・ファシリテーション～ ]
11月14日(木) 13時00分～16時00分 丹波篠山市民センター 多目的ルーム①	<b>養成ゼミコース② 平櫛 武</b> [ 地域意見の重みづけによる課題抽出 ～ローリング・ファシリテーション～ ]
12月13日(金) 13時00分～16時00分 丹波篠山市民センター 多目的ルーム①	<b>養成ゼミコース③ 平櫛 武</b> [ 本番を想定した地域住民役との実践訓練 ～サバイバル・ファシリテーション～ ]
令和7年 1月18日(土) 10時00分～11時30分 ※閉講式11時30分～ 丹波の森公苑 多目的ルーム	<b>養成ゼミコース報告会</b>  受講生からのゼミ報告とゼミ講師による講評

※プログラム日程は講師の都合で変更することがありますので、予めご了承ください。  
 ※事業創造コースについては20名程度で実施予定、希望者多数の場合は抽選となります。  
 ※養成ゼミコースについては10名程度で実施予定、希望者多数の場合は抽選となります。